



公明党 大泉 一夫 18
がん検診受診控えの解消を

問新型コロナウイルス感染症を危惧して、がん検診の受診を控えている市民に対して、命を守るためにがん検診を促すための市の取り組みを伺う。

答保健医療部長 がんの早期発見・早期治療のためには、がん検診を受診することが重要である。受診行動への影響をできるだけ少なくするため、がん検診の受診は、不要



公明党 小ノ澤 哲也 19
制度周知から個別勧奨へ！

問制度周知は行うべきと提案し実施された子宮頸がんワクチンの個別勧奨が国の判断で再開となったが、市の案内通知のスケジュールは？

答保健医療部長 標準的な接種期間に当たる中学1年生に対して、令和3年度中に勧奨準備を開始し、令和4年4月初めからワクチンの接種を受けることができるように進



政策フォーラム 高橋 剛 20
川越運動公園に飲食施設を

問川越運動公園内に市民が望む飲食施設を導入するなどして利便性を向上させ、公園としての魅力を高めることについて、市の見解を伺う。

答都市計画部長 川越運動公園本来の機能を維持しつつ、さらに魅力ある公園へ向けた取り組みは必要と考えており、その手法として飲食施設の導入は、当公園のさらなる



無所属 伊藤 正子 21
自分らしく暮らせる社会

問全課で男女共同参画の視点を持ち、性別による差別のない社会を実現するため各分野の女性リーダーを養成するべき。どう推進するか市長に伺う。

答市長 男女共同参画社会の形成に向けて取り組みを進めることは、男女にとどまらず、多様な人々を包摂し、活力のある持続可能な社会の実現につながるものである。



政晴会 小野澤 康弘 22
今後の都市提携の在り方

問本市は姉妹友好都市締結により都市交流も行われ実績もあるが、新たに民間を主体とするパートナーシティー交流制度も創設してみてはどうか。

答文化スポーツ部長 今後の都市交流については、持続可能な交流の在り方を設定することが求められるものと考えている。



日本共産党 川口 知子 23
補聴器購入補助の導入を！

問加齢性難聴者の早期の補聴器使用は、認知症予防の効果がある。まず中等度難聴で非課税世帯の人への補聴器購入補助の導入の考えを伺う。

答市長 難聴の高齢者の聞こえを適正に補うことは、生き生きとした日常生活を保ち、認知症予防に資するメリットがあるものと考えているが、軽度から中度の難聴者を対

